

東京の自治のあり方研究会今後の進め方について

■ 研究会の方向性（案）

- 部会での論点整理も踏まえつつ、人口減少による都及び区市町村の行財政への影響や地域的課題について掘り下げていく。
- 地域ごとの課題を踏まえ、中間報告で示した3つの論点（都と区市町村の役割分担、住民自治（自治の担い手）のあり方、効率的・効果的な行財政運営のあり方）から、さらなる検証を進める。
- 上記の前提のもと、年度末のとりまとめに向けて議論を行っていく。

■ 研究会の展開（案）

- 第12回（平成26年7月23日）
 - ・ 部会の論点整理についての報告
 - ・ 今後の進め方についての確認
- 第13回（平成26年10月28日）
 - ・ 人口推計結果から想定される地域ごとの課題
- 第14回（平成26年12月19日）
 - ・ 地域ごとの課題を踏まえた東京の自治のあり方
 - ・ 最終とりまとめに向けた整理
- 第15回（平成27年3月頃）
 - ・ 議論の取りまとめ